

栄村は、日本有数の豪雪地帯であり、事務所から徒歩五分のJR

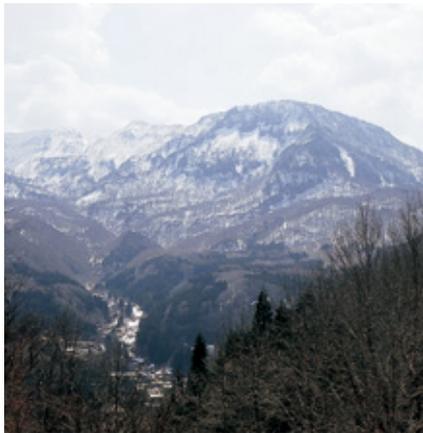


積雪日本一標柱

【北信森林管理署 水内森林事務所】
水内森林事務所は、長野県の最北端に位置する下水内郡栄村に所在し、管轄する国有林野は、村内を流れる千曲川を挟んで分かれており、北側には野々海高原がある中山峰国有林と豊栄山国有林。南側は秘境・秋山郷がある赤石沢国有林、鳥甲国有林、下高井郡山ノ内町の岩菅国有林を含む約一七、一六八ヘクタを管理しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



苗場山と小赤沢集落

管内には、日本百名山に選定されている苗場山があります。登山道は途中に、岩場や鎖場等の手ごわい場所もありますが、九合目から山頂までは平らな地形が続き、そこには高層湿原が広がり、大小様々な池塘と豊富な高山植物に出会えます。

森宮野原駅には、当時としては日本一の最高積雪地点(昭和二十年積雪七・八五メートル)の標柱が建っています。しかし今年は、全国的な暖冬の影響もあり積雪量が例年よりかなり少なく、地元の方に聞いても、こんなに降らないのは珍しいと言っていました。

当森林事務所は森林官一人で、生産等請負事業の監督、境界巡検・巡視、各種調査などの業務に取り組んでいます。業務を効率的



あまいけと鳥甲山
天池

対岸の鳥甲山は岩肌が荒々しく厳かで、苗場山とは対照的な山容を見せています。新潟県・群馬県に跨がる国有林は、佐武流山周辺森林生態系保護地域に設定され、日本海側の森林植生から太平洋側の森林植生への推移帯にあたる原生的な森林の生態系を自然環境の維持、動植物等を保護、保存しています。



事務所前で！筆者

■未来の担い手へのメッセージ
今まで勤務してきた事務所の国有林には、奥地まで先人の育てた造林地があります。その貴重な造林地を整備することは、次世代につながる森林づくりに貢献しているとやりがいを感じます。先人の森林を若い皆さんで、さらに後世につなげていってほしいと思います。